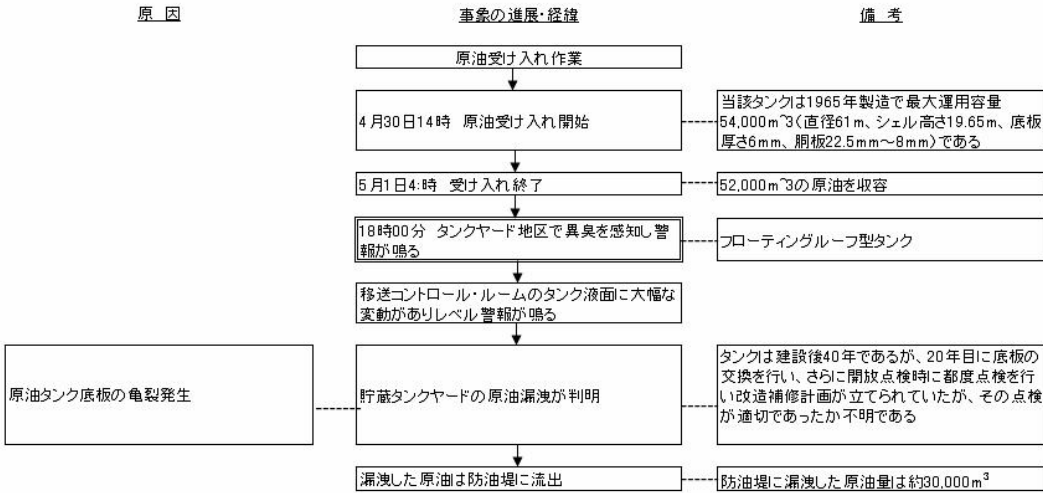




タンクヤード地区原油タンク底部亀裂発生による重油大量漏洩

事象進展図

00398	タンクヤード地区原油タンク底部亀裂発生による重油大量漏洩
発災年月日	2006年5月1日
装置	原油タンク
運転状況	ルーチン作業中
特徴	劣化更新計画の実行が間に合わず劣化したタンク底部の亀裂漏洩による原油流出事故



再発防止策

- ・当該タンク地区の全タンクのタンク底板の交換計画は2004年から2010年の予定で立てられていた。事故後タンク底板の交換計画の作業進捗管理を強化した。
- ・事故以前に既に計画されていたが全タンクにアコースティックエミッションを使用して検査を行ないタンクの構造状態を調べた。
- ・当該タンクの内部検査が終了し破損原因が特定できた後、技術、組織、管理などの変更の可能性を検討する。

安全専門家コメント

当該タンクの20年目の底板交換やAEIによる構造体の検査、タンク改修計画の策定など開放点検時の作業は確実に実施されている。原因が未定であるのでコメントできないが何故その原因を見落としたか検査項目、検査法、点検基準、管理体制などの観点から検討して、今後に活かしてもらいたい。防油堤は14,000m²と広く、当日風が吹いていたので泡消火剤で覆うのは非常に困難であったが、オンサイト消防、公設消防の迅速かつ適切な措置により火災などの大事故に到らなかったと推定される。泡消火剤の被覆により火災の発生を防いだ事例である。事業所と自治体は、避難や事故の拡大防止などの緊急時対応について、定常的な情報の交換と共有が望ましい。

引き金事象発生の原因

原因未定であるが、40年経過しているので劣化が起こったと推定

事故の引き金事象

タンクの低部の亀裂発生による開口

事故に関連した直接・間接要因

《保守・点検要因》
 保守・保全不良
 《管理・運営要因》
 設備維持・管理基準の不備・不十分



タンクヤード地区原油タンク底部亀裂発生による重油大量漏洩

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

MARS Database

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 浮屋根タンク > FRT, フローティングルーフトank, 浮き屋根タンク
- 🔑 貯蔵系
- 🔑 AE
- 🔑 タンク > 貯槽
- 🔑 土壌汚染
- 🔑 保守点検
- 🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備
- 🔑 防油堤
- 🔑 アコースティックエミッション

▶ 関連情報